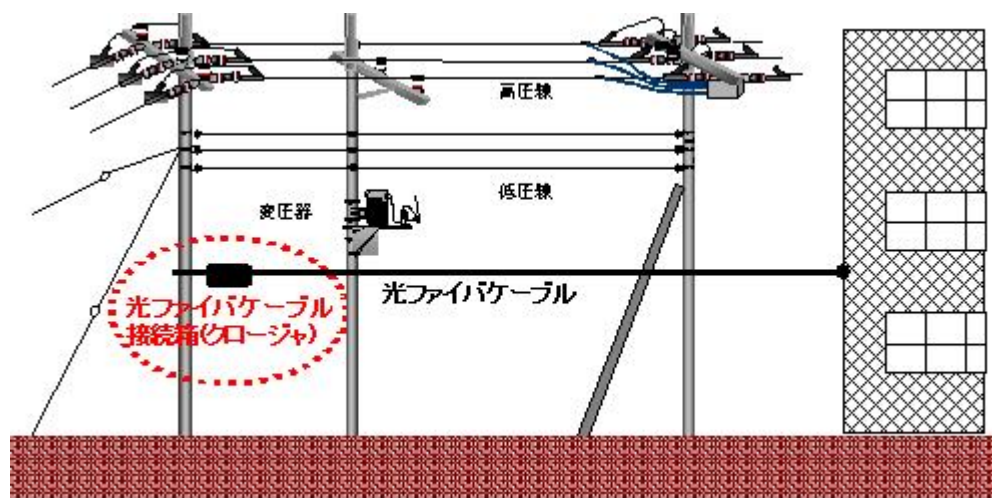


「架空光エコクロージャ」の開発概要

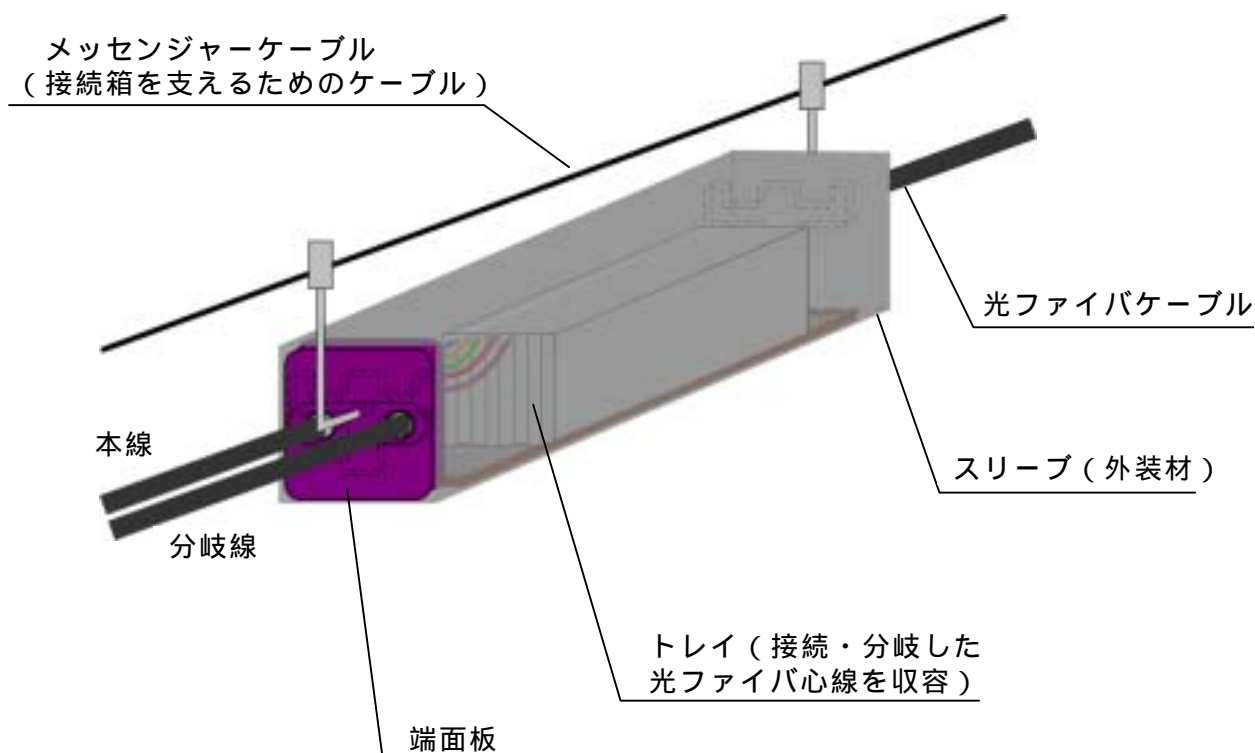
1. 概要

- ・環境負荷の低減および作業性の向上を実現した、光ファイバケーブルを接続・分岐するための接続箱。

< 参考 > クロージャ



「架空光エコクロージャ」のイメージ図

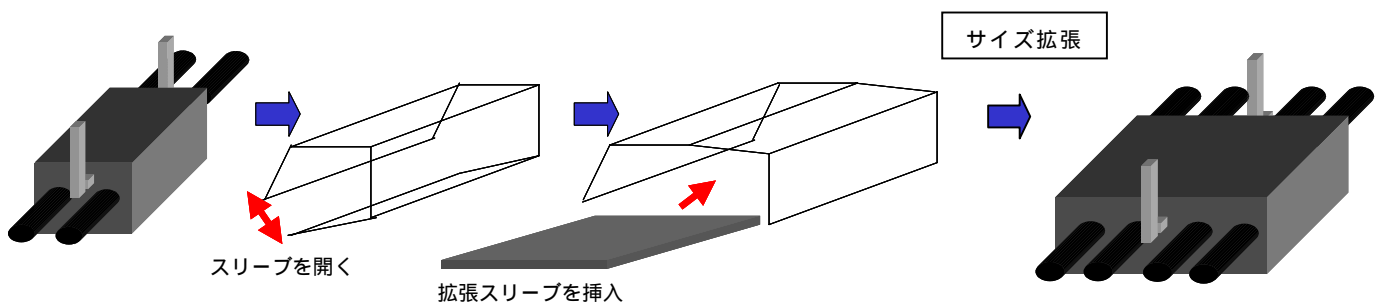


2. 主な特長

(1) 環境負荷の低減

a) 廃棄物の削減 (年間約 3.4 t)

- ・ 光ファイバケーブルを増設する際、既設の接続箱を活用し、部品を追加してサイズを拡張することで、接続箱の交換が不要となり廃棄物の削減が可能となった。

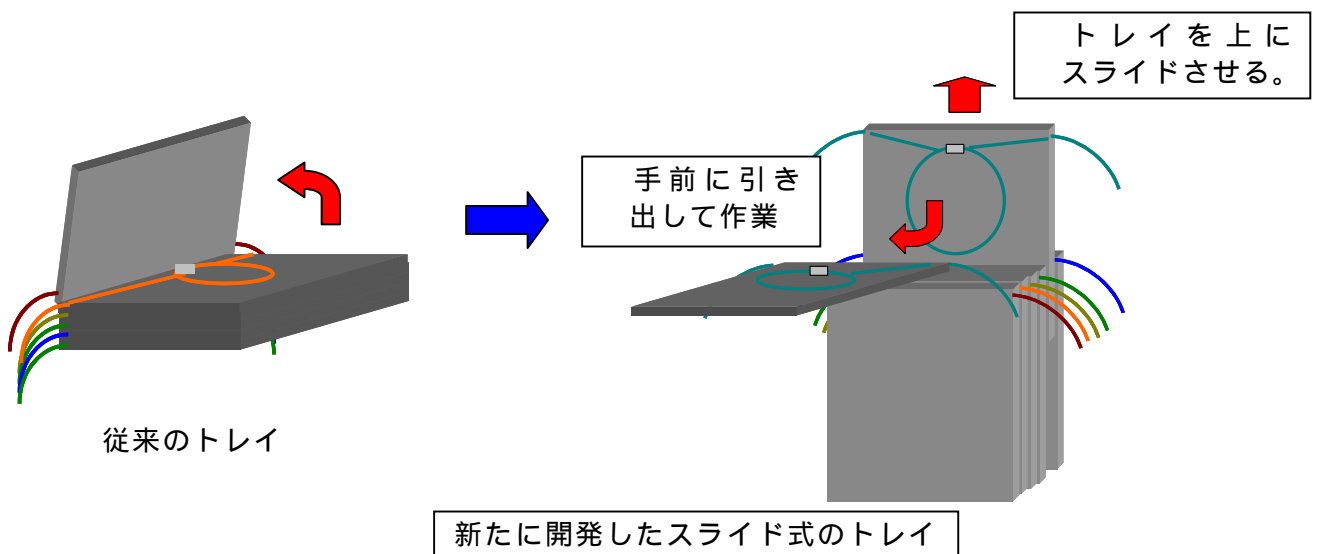


b) リサイクル材料の有効利用によるプラスチック材料の節約 (年間約 7.8 t)

- ・ 「エコクロージャ」のスリーブに使用する材料として、撤去した光ファイバケーブルの被覆など一部の廃材を約 15~20% 配合し有効利用することで、プラスチック材料の節約が可能となった。

(2) 作業性の向上を重視した構造 (作業時間の短縮: 約 6 割減)

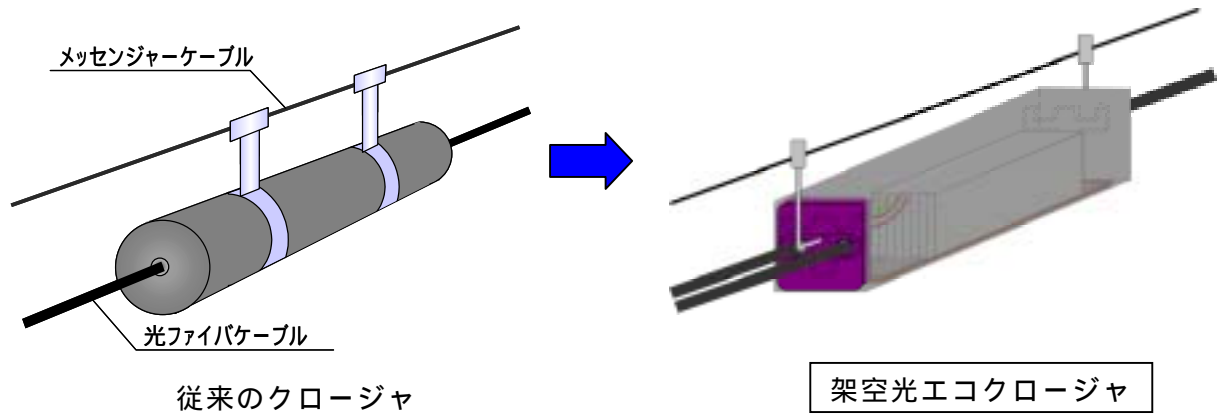
a) 作業性に優れたスライド式のトレイを開発



〔従来に比べてトレイの作業面が開放された状態で施工できるほか、トレイを固定しやすい。〕

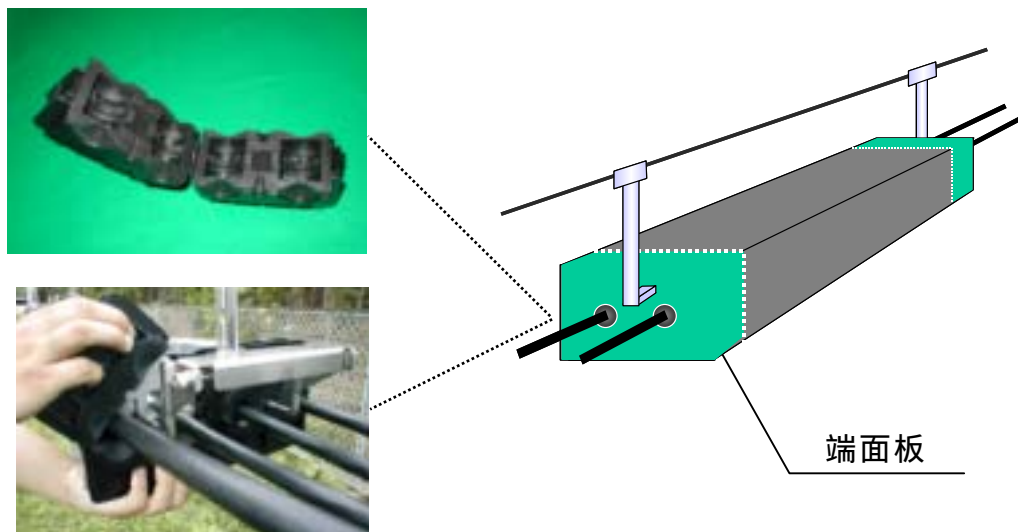
b) 吊り下げた状態で作業可能な構造の採用

- ・ 接続箱と吊り金具を一体化することで、吊り下げた状態での作業が可能となった。



c) 多様な外径のケーブルに対応可能な端面板の採用

- ・ 接続箱の両端に取り付ける止水用のパッキン（端面板）のケーブルへの接触面を柔軟な構造にすることで多様な外径のケーブルにも対応可能となった。



(3) 以上によるコストダウン効果

- ・ 年間約 1.4 億円

3 . 開発体制

(1) 開発者

- ・ 東京電力株式会社

住所：東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 3 号

取締役社長：勝俣恒久^{かつまたつねひさ}

- ・ 古河電気工業株式会社

住所：東京都千代田区丸の内 2 丁目 2 番 3 号

取締役社長：石原廣司^{いしはらひろし}

(2) 開発期間

- ・ 平成 18 年 6 月 ~ 平成 19 年 3 月

(3) 開発費

- ・ 東京電力 約 1 千万円
- ・ 古河電気工業 約 1 千万円

以 上